

大分県、ガンダム×未来技術の新構想「ガンダムオープンイノベーション」に採択

～バンダイナムコグループのサステナブルプロジェクト～



GUNDAM
OPEN
INNOVATION



大分県は、バンダイナムコグループが推進するガンダムのIP(キャラクターなどの知的財産)を活用した「ガンダムプロジェクト」のうち、サステナブルをテーマにしたプロジェクトの一つである「ガンダムオープンイノベーション」に採択されたことをお知らせします。

この「ガンダムオープンイノベーション」とは、1979年のTVアニメーション放送から40年以上にわたり映像作品や商品・サービスなどを展開しているガンダムシリーズと未来技術を掛け合わせることで、未来の夢と希望を現実化するプログラムとして昨年6月に発表されたもので、革新的なアイデアや技術でバンダイナムコグループの横断プロジェクト「ガンダムプロジェクト」と共に課題に取り組むパートナーを募集していました。

この度、3月29日(火)にメディア向けに開催された「第3回ガンダムカンファレンス」にて数多くの応募の中から採択パートナーが発表となり、大分県が採択されたことが公開されました。

大分県は、宇宙港を通じてアジアにおける宇宙ビジネスの中核拠点となることにより、日本を含むアジアの企業や人々に対し、新たなビジネスや暮らしの選択肢を提供します。

*こちらの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

*記載の会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標または登録商標です。

*権利表記: ©創通・サンライズ

「ガンダムオープンイノベーション」参考資料(「ガンダムプロジェクト」の資料より抜粋)

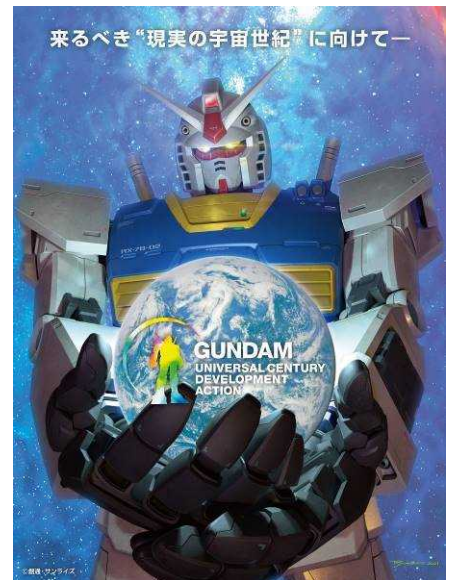
■「ガンダムプロジェクト」とは

株式会社バンダイナムコエンターテインメント常務取締役 藤原孝史が務めるチーフガンダムオフィサー(※)を主宰とし、バンダイナムコグループ全体でより効果的なガンダム戦略を立案・実行するためのグループ横断プロジェクト。「ガンダムプロジェクト」を中心として、ガンダムによるグループ事業強化と同時に、グループ外との連携も強化してグループ内リソースのイノベーションを図り、ガンダムシリーズの IP 価値を向上させ、SP(Social Property/社会的アイコン)として成長させることに取り組んでおります。

※チーフガンダムオフィサー:バンダイナムコグループのガンダム事業を統括する役割として 2003 年より設置。

■サステナブル活動「GUNDAM UNIVERSAL CENTURY DEVELOPMENT ACTION」について

バンダイナムコグループでは、ガンダムシリーズの製品やサービスなどグループ横断によるさまざまな事業を展開すると同時に、サステナブルを軸にした活動「GUNDAM UNIVERSAL CENTURY DEVELOPMENT ACTION (GUDA)」を推進しています。「来るべき“現実の宇宙世紀”に向けて—」というテーマを掲げ、作品内に登場する架空の時代「宇宙世紀」が抱える地球における人口問題や地球環境問題を現代社会における問題と考えることで、未来の子どもたちのためにさまざまなアクションを実行しています。



・GUNDAM UNIVERSAL CENTURY DEVELOPMENT ACTION ホームページ
<https://www.bandainamco.co.jp/guda/>

■「ガンダムオープンイノベーション」について

「ガンダムオープンイノベーション」は、私たちが暮らす現実世界において“宇宙世紀”を新たに捉えなおし、社会が抱える課題に対して、ガンダムシリーズと未来に向けたアイデアや技術を掛け合わせることで、夢や希望の現実化を目指す「GUDA」の新しいプログラムです。“宇宙世紀”を起点に、人類の革新や人類が望む未来社会を構想し、本気で実現に向けて挑むことのできるさまざまな分野のエキスパートやイノベーター、研究機関や先端企業などのパートナーとともに、課題解決に挑みます。

・ガンダムオープンイノベーション ホームページ
<https://www.bandainamco.co.jp/guda/goi/>

以上